

# きぼう

2017年3月10日  
藤野「福まち」広報誌

第21号

●発行／藤野地区社会福祉協議会

●企画／藤野地区福祉のまち推進センター広報啓発班



## 畑と共に藤野に嫁いで69年 はちおうじ 八尾師ハルさん(高見台町内会)

畑が大好き、体を動かしているのも大好き、「自分の出来ることは、自分で」をモットーにしている八尾師ハルさん。

大正14年生まれ92歳の現在でも元気に朝日と共に起き、夕日が沈むまで畑の中で汗を流し働いています。

藤野に嫁いで69年、いろいろな思い出話やその当時の様子をうかがいました。



私は昭和24年に、南の沢から藤野に嫁いで来ました。その頃の藤野は、畑と水田だけの土地でした。ここに新居を！と2人で家を建て始め、時には友人達に助けをもらいながら完成することが出来ました。しかし、道路が家まで続いておらず、これも夫婦で踏み固めたり、車を往復させたりしながら何回も繰り返し、道を作り上げました。

生活も大変でした。主人と農業を始めましたが、土地は広く草はボウボウ、石はゴロゴロ、野菜が取れるまで数年かかりました。そのため

に主人は会社勤めとなり、私が農業を一手に引き受けることになりました。

2坪から始め2,000坪の畑を持つまで、手作業から馬に移り、さらにトラクターと、少しずつ楽になってきました。

今はジャガイモ、トマト、ハクサイ、ダイコン、アズキナ、サクランボ等約20種類を一人でやっております。



電気もなく荒涼とした土地で、一から始めた開拓魂には、頭が下がる思いです。現在は、家庭菜園を6名の方にお貸しして、野菜作りのアドバイスや、妹さん夫婦と温泉に行ったり、好きな本を読んで過ごすのが楽しいそうです。冬は除雪機を使って雪かきをする、スーパーウーマンの八尾師さんです。いつまでもお元気で！！

(取材 武田)

平成28年度  
**「ふじの子育てサロンフェスタ」**  
 藤野地区にある9つのサロンが大集合！

平成28年11月13日（日） 藤野地区センター・アリーナ

藤野福まち主催による「ふじの子育てサロンフェスタ」も3年を迎えました。藤野地区の9つの子育てサロンが一堂に集まり藤野地区だけではなく、札幌市の広報誌などで知った定山溪や真駒内にお住まいの親子の参加もあり、とても賑やかなフェスタになりました。また、日曜日ということもあってお父さんの参加も多かったようです。各サロンの遊びのコーナーでは人気の新聞プールをはじめ、児童会館による作品作りや、本物そっくりに作られた魚を磁石のついた釣り竿で釣る魚釣りなど、小さなお子様から小学生まで楽しめた内容でした。（取材 棚橋）



▲児童会館による作品作りコーナー

できたよ！！



◀魚釣り



▲サンタさんも登場



▲段ボールカー

## 平成 28 年度「藤野地区ふれあい交流会」

# ハートフル コンサート

平成 28 年 9 月 24 日 (土) 藤野地区センター・アリーナ

平成 28 年度福まち主催の「藤野地区ふれあい交流会」は、テノール歌手の岡崎正治さん、ピアニストの伊藤千尋さんによるコンサートが開催されました。第一部の日本歌曲では「あかとんぼ」や「宵待草」など子どもの頃に歌った懐かしい曲を参加者の方も一緒に口ずさんでいました。マイクを使わなくても会場に響きわたる歌声には迫力があり、特に客席の中に入って歌われた時は、会場に集まった約 240 名の人たちを驚かせていました。(取材 棚橋)



▲客席で歌う岡崎さん

### 曲 目

#### 第一部

##### 日本歌曲

- ・ 鐘が鳴ります(山田耕筰)
- ・ あかとんぼ(山田耕筰)
- ・ 宵待草(竹久夢二)
- ・ 落葉松(小林秀雄)

##### イタリア古典歌曲

- ・ ラルゴ(ヘンデル)
- ・ 踊れ、優しい娘よ
- ・ いとしい人よ(ジヨルダノ)

##### オペラアリア

- ・ オペラ「トスカ」より、星は光りぬ(ブッチェリ)
- ・ オペラ「道化師」より、衣装をつける(レオンカヴァッロ)
- ・ オペラ「トゥーランドット」より、誰も寝てはならぬ(ブッチェリ)

#### 第二部

##### イタリア歌曲

- ・ 優雅な月よ(ベッリーニ)
- ・ 薔薇(トステイ)
- ・ 郷愁(チマーラ)

##### カンツォーネ

- ・ 私の太陽(カプア)
- ・ カタリカタリ(カルディッロ)
- ・ 空想の中で(モリコーネ)



▲子どもたちから花束プレゼント



# ◆◆ 平成28年度藤野地区福まち研修会 ◆◆

## 第1回

### 「地域社会として ～認知症高齢者等を抱える 家族に対する支援活動～」

平成28年度7月21日(木)、藤野地区センターにおいて、今年度第1回福まち研修会兼地域ケア会議が開催されました。

最初に、

「自宅介護の体験について」

研修活動班班長 星野数夫氏

から

「認知症のケアについて」

特養老人ホームらいらつく施設長 山田七重氏からそれぞれ講和をいただきました。

研修は9つのグループに分かれて、家庭内における些細な問題解決のための「知識・手法等」について、有意義な意見・情報交換が行われ、参加者の皆さん全員が今後の活動に役立てられる情報交換ができました。(取材 清水)



## 第2回

### 「日常における ～高齢者等の見守り活動と 災害に備えた支え合い活動～」

平成29年度2月8日(水)、藤野地区センターにおいて、第2回福まち研修会が開催されました。

今回は、

南区保健福祉活動推進担当係長 大西俊行氏から、「見守り活動と災害時の支え合い活動の必要性及び単位町内会の取り組み状況」

についての講話と、

十五島町内会長の豪雨災害の貴重な体験発表がありました。

研修は9つのグループに分かれて、災害時における情報伝達、避難支援等の必要性と取り組み活動方法について、意義ある体験談等活発な情報・意見交換がなされ日ごろの心構えの大切さを知らされました。(取材 清水)



## 各種実践発表に熱気！ ブロック別実践者交流会開催

地域住民の日常的な支え合い活動、ボランティアによる福祉サービスの推進を事業の基本目標とする活動、すなわち「福祉のまち推進事業」(略して、「福まち」)が藤野地区社会福祉協議会と協同活動する「ブロック別福祉活動実践者交流会」は今年も19単町を4分割して開催されました。

急速に進む少子高齢化、核家族化、独居生活者増などを見守りし・訪問活動する課題はますます増えそうです。

今年度は日常での援助・支援実績をさらにキメ細かくしたうえ、広く持ち寄って共通認識とし、①健康寿命の延伸対策、②見守りと訪問活動、③福祉除雪と除雪支援状況、④高齢者の事故防止など、もっとも身近なテーマに熱心な討議がなされました。(取材 岩崎)

# 「藤野いきいき元気フェスタ」



☆「ロコモについて」 講話と体操 ☆

主催：健康づくり活動班



平成 27 年度までは、19 町内会を 4 ブロックに分けて「うんどう教室」を実施してまいりました。今年度は 8 月 31 日（水）藤野地区センター・アリーナに、総勢 115 名が集まり、簡単なロコモチェックと、NPO 法人理事長、広山智津氏による「ロコモについて」の講話と体操が開催されました。（取材 田中）



## ロコモティブシンドローム (通称:ロコモ) とは…?


骨、関節、筋肉、神経系等の運動器が衰えている、もしくは衰え始めている状態をいいます。

こんな症状、  
思い当たりませんか？

### 7つのロコモチェック

#### <さっそくチェック!>

自分のロコモ度は「ロコモチェック」を使って簡単に確かめることができます。7つの項目は、すべて骨や関節、筋肉などの運動器が衰えているサインです。ひとつでも当てはまれば、ロコモの心配がありますので注意をいたしましょう。

- 1  片脚立ちで靴下がはけない
- 2  家の中でつまずいたりすべったりする
- 3  階段を上るのに手すりが必要である
- 4  家のやや重い仕事が困難である
- 5  2kg程度<sup>\*</sup>の買い物をして持ち帰るのが困難である   
\*1リットルの牛乳パック2個程度
- 6  15分くらい続けて歩くことができない
- 7  横断歩道を青信号で渡りきれない

# 札幌市北方自然教育園

(札幌市南区白川1814)



札幌市北方自然教育園は、昭和51年に開設した札幌市白川野外教室(旧白川小学校)が前身です。北国の動植物の標本などが展示され、同時に体験学習を提供し、教育及び文化の向上に資する約5ヘクタールにおよぶ教育施設です。

特に幼稚園・学校で扱う教材用生物等を観察することや先生方の研修に役立ててもらうのに力点をおいています。

少し詳しく、四季折々の体験学習全体を記しますと、次のようになります。

## (1) 体験農場の活動

水田(稲の収穫脱穀まで)、畑(イモ・カボチャなどの植え付け・収穫栽培)、果樹園(梨・サクランボなど収穫)、を学年別に実体験します。

## (2) 学習館

常設展示室・生態展示室・標本観察特別展示室・工作室などでは昆虫、淡水魚、両生類、は虫類ら多種の標本を展示、コオロギ飼育もあります。室内館としては希少価値の蝶々や札幌市ではこ

こだけにいるという、珍しい昆虫標本もあります。また屋外の観察園もよく手入れされています。

## (3) 水生植物園と温室

水中植物および水中生き物のほか、渡り鳥も飛来する「ハス池」もあり、夏場は子ども達に人気の場所となります。

平成22年行政改革で進めた指定管理者制度導入により、公益法人・さっぽろ青少年女性活動協会が運営管理にあたっております。幼稚園ほか全体で550強の市立小・中学校すべてに毎年来館案内を発送しますが、少子化問題影響もあり、以前のような嬉々とした場内一杯の賑やかさが無いといえます。

藤野地区にとってはかけがえのない教育・文化施設であり、誇り得るべき地域財産となって未来の子ども達に保存伝承する責務があるものと考えられます。(取材 岩崎)



# 藤野いこいの家

住み慣れた地域で  
安心して暮らせる  
福祉施設を目指して



藤野いこいの家は、藤野地区に平成 16 年開設し、今年で 14 年目を迎えます。

グループホーム藤野いこいの家	デイサービスセンター藤野	小規模多機能ケアホーム 藤野いこいの家
定員 15 人	定員 25 人	定員 22 人

南区内では以上 3 つの事業を行っています。

- 家庭的な環境の中で、利用者一人ひとりが自分らしい時間、生きがいを見つけ、身体的・精神的機能低下を軽減させるケアを目指しています。また、夏祭りなど恒例行事を行い、地域の皆様と一緒に楽しんでいます。

進み行く高齢化、そしてその多様化したニーズに応えるために、職員ひとり一人が日々の研鑽に努めるとともに、ご利用者の生活の質の向上を図っていきます。

- デイサービス、小規模多機能ケアホームでは、ご自宅まで送迎、入浴、行事参加まで 1 日体験をいつでもご利用いただけますので、お気軽にお問い合わせください。

- 小規模多機能型居宅介護とは、「24 時間 365 日」の在宅生活を支えるために必要な様々な支援を行います。日中の集いの場として通いサービス、自宅での介護が必要な時は訪問サービス、また事業所にて宿泊サービスもあります。通い、訪問、宿泊の全てに馴染みの職員が関わるので、ちょっとした変化にも柔軟に対応でき、環境変化が苦手な利用者にも安心してご利用いただけます。



介護が必要になっても、自宅に住み、家族や親しい方々と不安のない生活を送りたいという高齢者の思いや家族の願いに応じておられます。

(取材 仙北)

◆ グループホーム藤野いこいの家 ◆  
◆ デイサービスセンター藤野 ◆  
南区藤野 3 条 6 丁目 5-5  
電話 594-4151 FAX594-4177

◆ 小規模多機能ケアホーム ◆  
藤野いこいの家 ◆  
南区藤野 2 条 10 丁目 13-17  
電話 887-9915 FAX 887-9916



写真紹介は  
次ページ  
中段まで  
続きます。→

# 藤野いこいの家 行事・レク写真集



## 充実した人生には楽しみがある。

日々の体操や機能訓練を行うことで、歩行の安定や転倒の予防、また認知機能の低下を予防するため脳トレなんかもがんばっています。でも楽しくなけりゃ～！

外出レクに出かけて、「おいしい物食べたり」「きれいな景色を見たり」

いろんな刺激を感じて充実した生活が送れるよう活動しています。

## “オレオレ詐欺 にはくれぐれもご注意を”

警察官とともに、独居世帯を訪問・・・

今年も、穏やかにお正月を迎えられますようにと町内会連合会、社協などが連携して進める「歳末防犯・防火」運動の独居宅見守り訪問が、12月の約1ヶ月をかけて各町内会で広くおこなわれました。

写真はそのひとコマですが、南警察署の防犯担当官が、同行し声掛けをした玄関先での様子です。

普段から馴染みがある福祉部および民生委員のメンバーが一緒のため、皆さんは改めて『注意』の気持ちを高めておられました。

(取材 岩崎)



## ● 編集後記 ●

昨年12月のドカ雪には、皆さん閉口されたのではないのでしょうか。札幌で12月に90センチ以上の積雪となるのは、1966年以来50年振りだそうです。

1日に何回もの雪掻きは、特に高齢の方には大変なことだと思います。そんな中、町内のあちらこちらで近所の方が雪掻きを手伝う姿を目にしました。

『向こう三軒両隣』——『ご近助づきあい』の大切さを痛感する札幌の冬です。

(小野)

### 「きぼう」第21号

発行人 飯盛禮子  
 編集者 岩崎、小野、仙北、武田  
 田中(友)、棚橋、清水、森永  
 (連絡先 岩崎 591-1098)  
 組版印刷 日光広告(株) (藤野 1-5)